

IRB番号「2025-GB-060」

研究課題名「切除不能進行・再発非小細胞肺癌におけるTIL発現状態とPD-1/L1阻害薬およびCTLA-4阻害薬の効果の検討」

1. 研究の対象

2018年1月1日から2023年12月31日の間で切除不能進行非小細胞肺癌と診断され当院で免疫チェックポイント阻害薬を投与された方

2. 研究の目的・方法

近年、「免疫チェックポイント阻害薬」という新しいタイプの薬が、手術ができない進行した肺がんや、治療後に再発した肺がんの治療に大きな効果をあげています。中でも、「抗PD-1抗体」や「抗PD-L1抗体」という薬は、単独で使ったり、抗がん剤と組み合わせて使うことで、長く生きられる患者さんがいることが報告されています。また、「抗CTLA-4抗体」と組み合わせて使う治療法も、有効な選択肢として注目されています。

しかし、これらの薬がすべての患者さんに効くわけではありません。誰に薬がよく効くのかを見きわめるためには、「バイオマーカー」と呼ばれる目印のようなものを見つけることが大切です。現在は、「PD-L1」というたんぱく質の量を調べることで、ある程度効果を予測できるとされていますが、それだけでは十分ではないこともわかってきました。

最近の研究では、「TIL（ティル）」という、がんの周りに集まっているリンパ球（体を守る免疫細胞）に注目が集まっています。TILの数や種類、はたらき方が、免疫チェックポイント阻害薬の効き目に関係しているのではないかと考えられています。

この研究では、進行または再発した肺がんの患者さんのがん組織を使って、TILの状態と薬の効果との関係を調べることを目的としています。この研究によって、より正確なバイオマーカーを見つけ、患者さん一人ひとりに合った治療の実現につなげたいと考えています。

3. 研究期間

承認日 ～ 2027年12月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。

情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況、血液検査・画像検査結果等

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人 がん研究会有明病院
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号
研究責任者 呼吸器センター 医員 菅井 万優
連絡先：電話番号03-3520-0111(代表) FAX番号03-3520-0141